

湊二丁目(第5次)遺跡の見学会について
－鉄砲洲に営まれた武家屋敷と町人地－

1.発掘調査場所

中央区湊二丁目 10・11 番

2.調査期間

発掘調査 平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 9 月 17 日(予定)

整理調査 発掘調査終了後～平成 33 年 1 月 31 日(予定)

3.調査の実施

土地所有者及び事業者 住友不動産株式会社

調査の実施者 中央区教育委員会

調査支援会社 共和開発株式会社

4.遺跡見学会

(1) 日時

平成 28 年 7 月 1 日(金)・2 日(土)

午前 10 時～午後 4 時

(2) 内容

ア 発掘現場内における遺跡の紹介と調査状況の説明

イ 遺跡から出土した遺物の展示(食器、照明具、おもちゃ、瓦、石垣の石材など)

5.調査の状況

(1) 湊二丁目 10・11 番(第5次)遺跡の歴史的背景と特徴

遺跡地を含めた同地は、1590年に徳川家康が江戸に入府後、埋め立てが進行し、いわゆる「鉄砲洲(てっぽうず)」と呼ばれる土地になった。江戸時代は武家屋敷や町人地(町屋)となり、近代には築地外国人居留地の雑居地(外国人に日本人が建てた建築物を貸すことができる地区)として土地利用がなされた。主な遺構は、江戸時代初期のものと思われる石垣、埋立地の拡張後にひろがった町人地や武家屋敷(徳島藩蜂須賀家など)の建物址や石組みの下水、便槽などが検出された。特に石垣は、江戸時代初期の土地の造成がわかる遺構の可能性があり、大変貴重な発見である。

なお、発掘調査の進捗状況の関係により、見学会当日は石垣を見学することができないため、調査時に取り上げた石垣の一部の積み直し及び写真による展示をおこなう。

(2) 出土した主な遺物

武家の屋敷や、町人地の遺構から出土した陶磁器類、蜂須賀家の家紋瓦、築地外国人居留地に関連する遺物など。

連絡先 タイムドーム明石(中央区立郷土天文館)

中央区明石町 12 番 1 号

03-3546-5538